

おみくじは、大吉？ 吉？ それとも末吉でしたか？

初詣でおみくじを引いて今年の運勢を読んでいると、ある高齢のご婦人がご自身が引いたおみくじを見せながら、「これはどういうこと？」声をかけてきたので、そのおみくじを見ると「末吉」だった。

一瞬どう説明すればいいかと迷ったが、「末吉ですから、運勢はこれから半吉、吉、中吉、大吉と上に向かっていくということ。

大吉を引いて喜ぶ人がいますが、大吉の上はないので、後は運勢は下がるしかない。

小吉でもこれから運勢は上向いていくはずですからね。」と応えた。

「新年早々、あなたに会えてよかった。ありがとう。」と、ご婦人は離れていった。

たくさんの初詣の人出でごったかえす中で、どうして私に話しかけてきたのか、不思議と云えば不思議。

見も知らない人との一瞬の出会いであっても、どうせ応じるなら前向きになってくれそんな話がとっさにでき、自分の引いたおみくじは「吉」であったが、大吉を引き当てた気分になっつおみくじを神木に結わえた。

帰途、このご高齢のご婦人は一人で初詣に来ていて、わざわざおみくじの運の説明を人に尋ねることから想像するに、一人暮らしで誰かと話したかったのかなぁ〜と、ふと思った。

そう思うと、初詣にも高齢化社会の世相が見えるということか…。

そう云えば、駐車場に入るまで例年のように大渋滞を覚悟して行っただが、今年はスイスイ。

やはり世界的経済危機の影響からの人出の減少とすれば、やはりここにも世相が見えるということか…。